

社協だより

2014年1月 第35号

新年挨拶・福祉大会 …………… 2P
トピック・福祉のまちづくり研修会 …… 3P
社協のまつり・生活福祉資金…………… 4~5P
ホットなできごと …………… 6P
特別会員紹介 ほか…………… 7P

新年あけまして
おめでとうございます



みんなが笑顔でいられますように。

郡家デイサービスにかわいいお客さま。

大御門保育所園児のみなさんとの交流会で楽しい時間になりました。

社会福祉法人
八頭町社会福祉協議会

本所 〒680-0463 鳥取県八頭郡八頭町宮谷254番地1
TEL (0858) 72-6210 FAX (0858) 72-2793

船岡支所 〒680-0411 鳥取県八頭郡八頭町船岡殿159番地
TEL (0858) 73-0672 FAX (0858) 72-6122

八東支所 〒680-0532 鳥取県八頭郡八頭町東593番地1
TEL (0858) 84-2210 FAX (0858) 84-2227

キャッチフレーズ

ふるさと大好き
笑顔が大好き！

八頭町社協の経営理念

みんなで支え合い、
安心して暮らせる
福祉のまちづくり



<http://www.yazu-syakyo.or.jp/>

社会福祉協議会の情報が盛りたくさん。是非のぞきにきて下さい！



会長 桑村 和義

新年を迎えて

新年 あけまして
おめでとーございませう

町民の皆様には、輝かしく希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。また、日頃より社会福祉協議会に対しまして、格別なるご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

社会福祉協議会は、地域福祉の拠点として、最前線で活動いたしております。今年もこのことを、常に念頭におき、「みんなを支え合い安心して暮らせる福祉のまちづくり」のため、地域活性化事業の推進を図っていききたいと考えています。

まず、少子高齢化の中で、地域全体で支え合う体制作りの強化を図っていききたいと考えています。そして、地区福祉推進組織(まちづくり委員会)の支援です。さらには、多様化する住民ニーズを的確に捉えて事業の推進を図ってまいる所存です。しかし、これらは、いづれも皆様との協力体制が不可欠であります。私は、皆様との信頼関係の中、いつでも地域に出かけ、住民の皆様にはいつでもおいでいただける社会福祉協議会であることを心がけてまいります。

年頭にあたり、皆様にとりまして、幸多き年となりますことをご祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。

八頭町社会福祉大会



11月10日(日曜日)八東体育文化センターに於いて、平成25年度社会福祉大会が開催されました。大会当日は、160名の町民の方々に参加いただきました。式典では、民生委員・児童委員をはじめ、社会福祉協議会や福祉団体の役員、ボランティア団体、ボランティア活動実践者など多年にわたり町内の社会福祉の発展に貢献された方々43名が表彰されました。後半では、大江生活を見つめる会の浦林道子さんが、ボランティアを続けるには無理のない自分のペースにあった活動が大切であることを発表され、また福祉教育の現状を八東小学校教諭谷口三千代さんに、色々な角度から子どもたちが福祉の勉強をしている様子を発表していただきました。そして、記念講演では、声優の増岡弘氏がひと昔前の家族を描いたサザエさん一家は理想の家族であり、磯野家とご近所の関係が今必要とされる地域福祉であると、マスオさんの口調を交えながら講演され、会場の皆さんの心に家族とは?と問いかけられました。

八頭町社会福祉協議会長表彰

役員功労者

山田 董

民生委員・児童委員功労者

今嶋 明吉、林 親雄、下田 慶子、山本しのぶ、田中 寿人
横野 幸代、井上美栄子

団体役員功労者

山崎 洋一、今井 昭夫、西村 聡二、岡部 和史、田中 剛
澤田 義昭、竹田 明俊、小松 聖、山根 嘉久、田淵 裕二
安部 豊美、山本 清子、森本 重男、竹内富美枝、井尻 松代

団体役員功労者

岩城 操子、浦林 京子、澤田 朱美、小谷廣太郎、岡本 義博

ボランティア功労者

平木 久之、西尾 征子、浦林 武男、村尾久美子、田中 貞男
安養寺一夫、平木 智子、榎田美穂子、上田ひさ江、西村由利恵
石本 淑子、岸本 康子、田中 一子

ボランティア活動感謝状

花つくりボランティア、細見グループ



トピック

認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指して 福祉のまちづくり研修会

高齢化の進行により、社会全体の課題として認識されつつある認知症。その患者数は全国で462万人を超えると言われており、(厚生労働省研究班調査 2012年)今後も患者数が増加すると予測されるなかで、患者と家族を支える地域づくりが必要となっています。

今回、八頭町の福祉計画モデル地域を対象として、認知症に対する正しい知識や対処、そしてそれを温かく見守る事ができる地域について考える「福祉のまちづくり研修会」を開催しました。

研修会は、八頭町包括支援センターの石保健師による認知症サポーター養成講座と社会福祉協議会によるワークショップの2部構成で行いました。

認知症を正しく知り、支え合おう 認知症サポーター養成講座



認知症は一旦発達した脳が、何らかの原因で本来の働きができなくなる病気で、その種類は40種類近くにもなり、代表的なもので、アルツハイマー型・レ

ビー小体型・脳血管性・ピック病などがあり、それぞれ主症状が異なります。アルツハイマーの代表的な症状として物忘れがありますが、加齢による物忘れと認知症による物忘れには忘れ方に違いがあり、体験そのものをすっぽりと忘れてしまうような物忘れには注意が必要です。

認知症を正しく理解し、気持ちを十分に くみとって適切に対応する事が大切

認知症は早い段階から適切に対応することで進行を和らげることができるとが分かっています。支援には、

- ① 温かい気持ちでの適切な介護
 - ② よりよい介護環境
 - ③ 薬による治療
- の3つが重要な柱になります。

また、認知症発症のリスクを下げるために生活習慣・食習慣に気を配ることや、脳の活性化を図ることも大切です。特に笑う事は効果的です。



認知症の人への対応

認知症であっても一般の人との付き合いと基本的には変わりません。基本姿勢は「三つの「ない」です。

- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない

不安にならないよう優しく配慮した関わりが大切となります。

ワークショップ

「認知症患者・家族が安心して暮らすことができる地域とは」

続いて、参加者がグループとなり意見を出し合うワークショップをおこないました。「夫婦とその親の三人暮らし。夫婦は共働きで日中不在だが、親に認知症の症状が出てきた。」という事例をもとに、家族の立場となつて不安を書き出すもので、

- ① 身体の安全
 - ② 火の始末
 - ③ 行方不明
 - ④ 食事や薬の様子
 - ⑤ 悪徳業者への不安
 - ⑥ 近所に迷惑をかけていないか
- などが各グループから上がりました。細かい説明はないなかで、各グループから出た意見は共通しており、認知症に対するイメージ、そして、心配なことはみなさんが同じように感じているということがわかりました。

大切なのは声をかけあうこと 普段からのつながりを大切にすること

続いて、立場を変えてその家族を周辺の住民としてどのように関わることができのかを考えていきます。地域だけでは解決することは難しい課題ばかりでしたが、その中で参加者の中から出てきた意見は「見かけたら声をかける」「ご飯を食べたか」と声



ワークショップ

をかける「日頃から仲良くする」といった、住民だからできる心配りでした。また、多くの人が見守るといふことを書いていたことに、地域の力をあらためて感じました。

話し合いの中では、プライバシーについても意見がでました。なかなか家庭の中に踏み込んでいくことは難しく、家族としての葛藤もあります。しかし、認知症であることを地域と共有することで、家族も安心できる。地域のつながりも強くなる。そして本人の症状も和らぐと言った事例もあり、誰もが安心して話ができる地域づくりへの取組みが必要であると感じました。

安部地区研修会の様子



済美地区研修会の様子



2013 社協のまつり

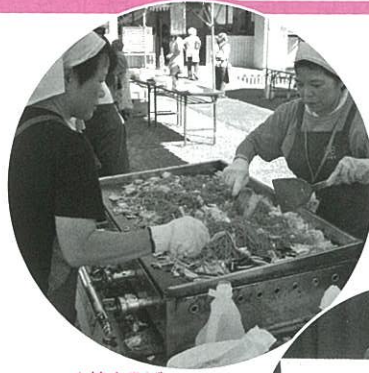
ボランティアのみなさま ありがとうございます

はっとう

かじや温泉まつり

9月29日(日)

八東地域福祉センターにて“かじや温泉まつり2013”を開催しました。460名の来場者があり、屋内ステージからは、小中学生の福祉・ボランティア体験発表、保育園児の合唱、勇壮な八東平成太鼓など、幅広い世代による発表・演芸に盛り上がりました。また、中庭では屋台が並び、その一角に「足湯」も設置し気軽に温泉体験。秋晴れの好天にも恵まれ楽しい時間を過ごしていただけたようです。このまつりを地域住民自らがづくり、子どもから高齢者までのさまざまな世代が「ふれあい、認め合い、つながりあう」ことで、地域の良さを再確認できたのではないのでしょうか。



↑焼きそば



↑福祉体験発表



↑上日下部囃回しの会



↑八東平成太鼓



↑観客の様子

こおげ

こおげいきいき健康福祉まつり

10月13日(日)

ボランティア活動の活性化を目的に「広がれボランティア 明日へ 未来へ」をテーマに開催した今年の健康福祉まつり。福祉団体ボランティアの皆さんのご協力と小・中・高・大学・一般のボランティアの協力約1,000名の参加で盛大に開催されました。

小中学生のステージでのボランティア活動発表を始め、ボランティア特設コーナーでのパネル展や点字体験、ゲームコーナーの運営、共同募金活動や募金キャラクターの愛ちゃんの着ぐるみ活動、店舗の運営補助にとボランティアの皆さんの活躍によってまつりを大変盛り上げて頂きました。

お楽しみのステージイベントでは、中私都保育所、郡家西区いきいきサロンの演技や中央中学校の吹奏楽部の演奏、市場少年麒麟獅子クラブ、東区成年会の踊りが会場をにぎわせ、最後に県立日野高校郷土芸能部が、会場全体を大きく使ったダイナミックな動きで荒神神楽を披露。ヤマタノオロチが生きているかのように煙や火花を吐く演出や、颯爽と退治するスサノオノミコトの動きに、観客からは歓声と拍手が巻き起こっていました。



↑市場こども麒麟獅子



↑県立日野高校郷土芸能部による荒神神楽



↑中私都保育所の演技



↑東区成年会の傘踊り



↑中央中学校 吹奏楽

ふなおか

メニューダまつり

10月20日(日)

メニューダまつりは、子供からお年寄りまでの幅広い年齢層の人たちと、様々な障がいを持った人たちが、お互いを理解し、お互いを認め合い、『ともに支え、ともに乗り越え、すべての人に優しい仲間づくり・地域づくり』を目的に行っています。第8回メニューダまつりでは、悪天候にも係わらず714名もの来場者を迎え、盛大に開催されました。ボランティア団体等による模擬店、保育所・小中学校・作業生など様々な団体による発表等々、大いにまつりを盛り上げていただきました。少しずつですが、メニューダの丘から福祉の輪が広がってきているように感じうれしく思いました。



↑メニューダ劇団



↑大江小学校



↑さくらんぼ



↑カラオケ教室のみなさん



↑船岡中学校



↑みんなで合唱



↑隼小学校

生活福祉資金貸付制度をご活用ください

生活福祉資金とは、必要な資金貸付と相談支援を行うことにより、その世帯が安定した生活を送れるようにすることを目的として行われている公的な貸付制度です。主な条件は次の通りです。

(貸付対象) 下記のいずれかに該当する世帯を対象として貸付を行います。

- 低所得世帯(世帯全体の所得が基準額以下)
- 高齢者世帯(65歳以上の方が属する世帯)
- 障がい者世帯(各障害手帳をお持ちの方が属する世帯)

(主な貸付種類) 資金用途に応じて貸付上限額・返済期間が異なります。

- 各学校の授業料等及び就学に必要な経費(高校・大学・短大・専門学校)
- 技能習得のための経費
- 障がいのある方の生活環境を整えるための貸付
- 法人格を持たない個人事業者が事業を営むうえで必要な経費
- 家計を圧迫し困窮するような事情に対する経費(療養・介護・災害等)
- 離職者・失業者に対する貸付(注1)

(金利) 年利1.5%(条件により無利子)

(注1: 離職者・失業者に対する貸付については、対象・条件が異なります。)

※上記内容は概要であり、詳細は八頭町社会福祉協議会までお問合せ下さい。

※貸付には審査があり、申込内容や世帯の収支・負債状況によっては貸付できない場合があります。

また、他の負債の借り換えや、既に支払った費用は貸付対象となりません。



お問い合わせ 本所(郡家) TEL(0858)72-6210 八東支所 TEL(0858)84-2210
船岡支所 TEL(0858)73-0672

ホットな 各支所のできごと



入浴とおいしい食事が終わり、ホットと一息つくのもつかの間「1時になるで!!」と、どこからともなく声があり、午後の体操、マッサージ、リハビリへ我先にと向かわれます。

理学療法士の指導のもと、それぞれの

利用者さんに合わせたリハビリ、体操を行います。

皆さんがいきいきとした表情で取り組まれ「どうだ、この前より足が上がったぞ」などの声が聞こえます。

皆さんの笑顔が職員にとって喜びのひとつであり、郡家デイサービスが利用者皆さんの元気のかになれたらと職員一同全力で応援していきます。

郡家デイサービス



デイサービスでは、年間を通して4回の外出支援を行っています。

春にはさくらの花見、夏には利用者の要望に応え日本海を見に、秋のはじめには買い物と喫茶でのコーヒー・ケーキをいただきました。そして、紅葉の季節にはモミジや七かまど、ハゼなどを観て楽しみました。今後も利用者さんのご要望に出来るだけお応えしたいと思っています。

「綺麗だったなあ」「美味しかった」「懐かしかった」など、話に花が咲きます。思い出のスナップ写真を孫に送りたいなど、様々なリクエストにお応えしながら今後も計画したいと思っています。

外出支援することにより活性化したり、気分転換になったり、他者との交流ができること、「また今度」「また来年」と笑顔で語って頂くことが私たちの肥やしになります。

船岡デイサービス



八東の美しい山々が、すっかり冬衣装をまとった頃、頭に浮かぶのは?“温泉に行きたいなあ”

皆さまもご存じだと思いますが、八東デイサービスのお風呂は鍛冶屋集落から湧き出る温泉水なのです。温泉の効能は、神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩など利用者様からは「やっぱり温泉の湯は違うなあ」「幸せだなあ～、いつも温泉に入れるだけえ」などの嬉しい声が聞こえます。

社協のデイサービスの職員も八東支所に勤務しているときは足がしもやけにならないと言います。これも温泉の効能でしょうか。

時々、猿が顔を見せてくれる賑やかな所です。

これから寒くなる季節、八東デイサービスに来て頂けたら体も心もぽっかぽっかに温まること間違いありません。

理学療法士による機能訓練、優しく朗らかな職員によるレクリエーションなど充実して皆さまのご利用をお待ちしています。

八東デイサービス



デイサービス ボランティア募集

社会福祉協議会各支所のデイサービスで、ボランティアさんを募集します。

内容

- ・介助ボランティア
- ・お話し相手ボランティア
- ・読書ボランティアなど

その他、将棋・囲碁の相手をしてくださるボランティアも募集中です。

社協特別会員の 事業所紹介

特別会員とは、毎年7月にお願い
しています社会福祉協議会会費を納
入いただいた事業所です。今後の社
協だよりで順次紹介していきます。

柿坂医院



【事業所からひとこと】

微力ではありますが、社会福祉協
議会とともに、地域医療に貢献し
てまいりたいと思っています。

柿坂 俊武
柿坂 仁

鳥取いなば農協八東支店



【事業所からひとこと】

皆さまが住み慣れた地域に、安
心して暮らせる福祉のまちづく
りとなるよう、地域住民と一緒
になって、地域福祉活動に取り
組んでいます。

尾崎医院



【事業所からひとこと】

尾崎医院です。社会福祉協議会
とタッグを組んで、住民の皆様
の健康を医療の面からサポート
してまいります。

「会費はこんなことに使われています!No.3」はお休みします。

みんながあつまって、みんながみんなの役に立つ

平成26年度活動の **ふれあいサロン** を募集します。

- ◆ 内 容 会食、お茶会、レクリエーションなどなど!
無理なく交流でき、参加しやすい場。
- ◆ 開催場所 公民館、集会所など
- ◆ 開催回数 年10回以上開催。
- ◆ 対 象 者 介護予防を必要とする人、ふれあいや仲間づくり
を必要とする人、高齢者、身体の不自由な方、児童など
- ◆ 活動運営 住民自身主体となり、集落単位で活動

●詳しいことは本所・各支所にお問い合わせください。

「ふれあいサロン」は、高齢者等の拠り所、
つながりを深める活動です。

サロン説明会を1月に開催します。

- 現在活動しているサロンは、代表者に
- まだ活動していないサロンは、福祉推
進員さんを通じて案内をします。

ぜひ、集落でサロン活動をして、支え合い
の輪を広げましょう。

中学卒業おめでとうございます

ひとり親家庭支援事業



平成25年度に、八頭町内の中学校を卒業されるひとり親家庭を
対象に、共同募金の配分金から「卒業祝い」として、図書カードをお贈
りします。

希望される方は2月14日(金)までに、社会福祉協議会へお申し込み下さい。

詳
し
く
は

郡家本所: TEL72-6210
船岡支所: TEL73-0672
八東支所: TEL84-2210
へお問合せください。

お知らせ

YAZUミュージックフェスタ

日時 3月2日(日)13:00 ~ 15:30

会場 八東体育文化センター

2014年
3月

「音楽を通して集い、楽しみ、地域に力を」詳細は、追ってチラシ等でお知らせします。
多くの皆様の来場をお待ちしております

ありがとうございました 謹んでお悔やみ申し上げます。

香典返しご寄付名簿録

八頭町社協広報誌掲載には、金額を表示せず掲載することと致しましたのであしからずご了承下さい。(敬称略)

11月				10月								9月								住所						
市場	麻生	井古	郡家殿	福本	久能寺	新興寺	富枝	富枝	富枝	安井宿	徳丸	島	米岡	市谷	上津黒	大坪	久能寺	安井宿	船岡殿	上野	下峰寺	郡家殿	郡家	大坪	郡家殿	住所
河村	宮崎	影山	平木	川口	中田	藤田	森田	森本	小林	徳田	大石	保木	澤田	平木	田中	木下	村田	竹内	山本	前田	福山	平木	井上	尾脇	田中	住所
敏	京子	晃久	明代	峰	明弘	克昭	洋午	洋子	久生	健治	修	勉	和男	和光	正	智	道則	良隆	正和	孝	浩一	真介	雅紀	博之	寿一	寄付者氏名
父	夫	妻	母	夫	父	母	母	母	母	父	母	母	母	父	母	父	妻	父	母	父	父	母	父	父	父	続柄
秀夫	勲	貞江	清子	貞男	明	壽子	たま江	はつ彖	昭子	昌敬	富美子	富子	喜久枝	政寛	良子	勲	末子	綾子	武博	芳子	進	美代司	和子	昭博	文男	故人名

一般寄付 (9月・11月)
(敬称略)

郡家赤十字奉仕団 13,432円
郡家ひまわりの会 10,000円
ボランティア夕顔 5,000円
郡家地域婦人会 5,502円
八頭町民生児童委員協議会郡家支部 10,000円

大谷 伯 金一封
林 廣子 介護用品多数
尾脇しのぶ 介護用品多数
船岡生活を見つめる会 2,000円
さくらんぼ 2,000円
船岡陶芸クラブ 7,000円
船岡赤十字奉仕団 9,230円
大江生活をみつめる会 1,000円
水口 水士里の会 2,000円
老人クラブ 船岡支部女性部 2,000円
大江ノ郷自然牧場 10,000円
浦林 和實 特別栽培土ムリン米 30kg
中島 武憲 衣類多数

11月				住所
横田	岩淵	才代	坂田	鳥取市
木下	保木本	若狭	石本	小林康男
照男	靖彦	綾子	健一	康男
妻	母	父	父	父
みさ子	トキ子	加藤正頼	貞夫	谷口美好
			君江	故人名

寄贈していただきました 車いす

「小さな親切」運動山陰支部より、車椅子が寄贈されました。

10月11日の贈呈式では、小田光則山陰合同銀行鳥取営業本部長から桑村会長に目録が渡されました。この車椅子は社会福祉協議会で有効に活用させていただきます。



ボランティアのみなさん ありがとうございます

ボランティアのみなさんに、草取り・草刈りをしていただき、各施設がきれいになりました。

期日	団体名	場所
9月13日	老人クラブ連合会八東支部	八東地域福祉センター
9月19日	老人クラブ連合会船岡支部女性部	船岡保健センター(メニユダ)
10月8日	市場サロン	郡家老人福祉センター
10月10日	済美地区・船岡地区老人クラブ	船岡保健センター(メニユダ)
10月12日	シルバー人材センター	郡家老人福祉センター
11月1日	花つくりボランティア	八東地域福祉センター
11月1日	身障協会船岡支部	船岡保健センター(メニユダ)

島根県・山口県大雨災害義援金報告

9月3日から9月27日まで募集しました、平成25年7月28日の大雨災害義援金へのご協力ありがとうございました。

島根県災害義援金 39,232円 **山口県災害義援金 24,437円**

義援金は、各県共同募金会へ送金しました。心からお見舞いと一日も早い復興をお祈りします。